

「森友学園問題」 財務省 文書改ざんを考える ～情報公開と公文書管理

森友学園を巡る財務省官僚による国会での虚偽答弁、政府や行政庁にとって都合の悪い行政文書の改ざんや廃棄隠ぺいの問題は、国民の代表である国会による行政監視を無視した暴挙です。そして、今回の問題で明らかになったのは、わが国において民主主義やこれを担保する国民の知る権利が土台から掘り崩されつつある、ということです。そこで、これまでも実際に行政に対する情報公開を徹底して追及され、森友学園問題でも検察庁に告発状を提出されているなど情報公開における理論と実践の第一人者である上脇博之先生を講師としてお招きして、森友学園問題を通じてわが国のお粗末な公文書管理の問題や情報公開のあり方などについてご講演を頂きます。是非多数ご参加をお願いします。

講師 上脇 博之 先生

神戸学院大学法学部教授（憲法学）。「政治資金オンブズマン」共同代表。兵庫県憲法会議幹事（事務局長）。「国有地低額譲渡の真相解明を求める弁護士・研究者の会」会員。

2018年7月25日（水）18：30～

※参加費無料 定員50名（先着順）

場所：婦人会館4階「もくれん」

※ 例会後、講師を交えて懇親会も予定しております。こちらもぜひご参加ください。

お問い合わせ先
自由法曹団兵庫県支部 佐伯
電話：078-382-0121
FAX：078-382-0122

